

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	民法Ⅱ	2	新島一彦・南部あゆみ	
平成25年度以前	民法総則	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			言語
	教科に関する科目(中学校(社会)):法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				共通
<p>民法とは、私たちの日常生活の基盤となる「財産」と「家族」のルールです。この授業では、民法第一編「総則」を扱います。総則とは民法の通則規定を集めた部分であり、さらには私法の基礎ともなる部分です。民法の基本ルールを学ぶことにより、私たちが日々おこなう経済活動に必要な知識や考え方を理解することがテーマです。そして、民法総則の基本的な概念(人、法人、法律行為、代理、時効など)をしっかりと習得することを達成目標とします。</p> <p>なお、この授業は教職の教科科目です。そのため、民法の知識や考え方が、中学・高校教育においてどのような意味をもつか、という点に配慮した構成とします。</p>				
授業の概要				専門基礎
<p>全15回の講義科目で、テキストに従って進めます。専門的な用語や概念を、具体的な事例を用いて解説します。分からない点があれば放置せず、すぐに質問に来てください。また、六法とテキストを毎回使用しますので、必ず持参してください。</p>				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回:ガイダンス／民法総則の教育的な位置づけとその必要性</p> <p>第2回:私権に関する一般原則</p> <p>第3回:人1／権利能力・意思能力・行為能力</p> <p>第4回:人2／成年後見制度</p> <p>第5回:法人</p> <p>第6回:法律行為1／法律行為のガイダンス</p> <p>第7回:法律行為2／心裡留保、虚偽表示</p> <p>第8回:法律行為3／錯誤</p> <p>第9回:法律行為4／詐欺、強迫</p> <p>第10回:代理1／無権代理</p> <p>第11回:代理2／表見代理</p> <p>第12回:無効と取消し、条件と期限</p> <p>第13回:時効1／時効のガイダンス、時効の援用、時効の中断</p> <p>第14回:時効2／取得時効、消滅時効</p> <p>第15回:まとめ</p> <p>定期試験</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
<p>今尾真ほか『フレッシュャーズのための民事法入門』成文堂、2014</p> <p>このテキストは春学期の「民法Ⅰ」でも使用します。六法とテキストは、必ず持参してください。</p>				25年度以前 専門基礎科目
参考書・参考資料等				
<p>川井健『民法概論1 民法総則[第4版]』有斐閣、2008</p> <p>副田隆重・中舎寛樹・山崎敏彦『新・民法学1 総則[第3版補訂]』成文堂、2010</p> <p>上記テキストよりも内容が豊富な基本書です。授業の内容を深めたり、テキストでは足りない部分を補うために、復習・自学用の参考書として位置付けてください。</p>				
学生に対する評価				
<p>学期途中で課題を課します。課題30%、定期試験70%で評価します。</p>				